

第5回 カジノ管理委員会契約監視委員会 議事概要

1 日 時 令和7年6月16日（月）10:20 ～ 11:00

2 場 所 カジノ管理委員会12階大会議室（web会議システムを併用）

3 出席者 委員長 工藤 裕子 中央大学法学部教授
委員 大森 明 横浜国立大学国際社会科学研究院教授
委員 中村 豪 東京経済大学経済学部教授

4 議事概要

(1) 開会（冒頭、委員の互選により、工藤委員が委員長として選任された。）

(2) 調達案件の審議

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの間に締結した契約のうち、委員が抽出した調達案件2件について審議が行われた。審議の概要は別紙のとおり。

(3) 閉会

1 カジノ規制を巡る潜在的課題に関する調査

意見・質問	説明・回答
応札者が一者となっている理由は何か。 公告期間が短かったのではないか。 また、人員不足や要員の手配が困難であったのは公告時期が年度末であったからではないか。可能な限り前倒しにするなど、公告時期についても再考すべきではないか。	応札が可能であったと思われる事業者からは、人員不足や要員の手配が困難であったなど、受注資格要件に係る理由が挙げられたことから、本委託業務の実施に当たって設定した受注資格要件を具備すると判断した事業者が限られていたためであると推察される。 公告期間は16日間設定しており、予算決算及び会計令に基づき十分な期間を確保したと認識している。 他方、結果として一者応札となったことを踏まえ、今後の委託業務の公告に当たっては、適切な公告期間等の設定に努めて参りたい。

2 海外企業を対象とした企業情報及びコンプライアンス情報に係るデータベースの提供

意見・質問	説明・回答
公募方式を採用した理由は何か。 本件の契約事業者と他のデータベースの提供業務も契約しているが、複数の契約となっている理由は何か。 部署が異なる場合であっても、組織内で調整するなど、効率的な契約手続を行うべきではないか	仕様書で定める条件を満たすデータベースを提供する事業者は限られていると思われるものの、他に存在しないとまではいえないことから、調達の透明性を確保するため公募方式を採用したものである。 担当部署が異なっており、データベースの使用目的が異なることから、複数の契約となったものである。 異なる部署による契約であっても、取りまとめ部署とも協議し、重複性や補完性も考慮のうえ、最適な契約方式について検討して参りたい。